

第3章 プログラムの内容

1. プログラムの基本構想と目的

「ジョ」国は水資源が乏しく、主要食糧作物の生産用水はほとんど天水に依存している。このため作付け適期が非常に限られており、機械化による耕起、播種作業の合理化が強く要望されてきた。こうした背景から、過去の2KRでは肥料、農業機械を調達することによって、同国の主要作物であるジャガイモ、小麦及びレンズ豆の増産を行うことが本プログラムの主たる目的であった。

2. プログラムの実施運営体制

農業省は同国の食糧自給の観点から、地域の特色に応じた農業行政を行うため、全国に23の地方支部を持っている。2KRプログラムにおける農業省の役割は、要請書の作成、農業資機材調達時の入札図書を作成、業者との契約、調達物資配布計画の立案、見返り資金の積立て及び運用、農業金融公庫（Agricultural Credit Corporation: ACC）への助言・指導である。

なお、ACCは農業省傘下の公社（総裁は農業大臣が兼務し、会計検査院の監督下にある）で、農家への肥料販売（保管・輸送は農業省）及び代金徴収等の業務を行っている。

3. 対象地域の概況

平成12年度向けの要請書が未接到であるため、この項は記載事項無し。

4. 維持管理計画/体制

農業機械・建設機械の維持管理は、農業省及び民間のワークショップで行われる。それらの施設で作業にあたる技術者は機械の保守管理に十分な能力を有し、ワークショップ内の整備機材、スペアパーツの管理状況も良好である。いくつかの民間業者では車輜に簡単な修理機材を搭載した修理工作車も有しており、現場での軽微な修理にも対応可能な体制が整っている。また、メーカー代理店を通してスペアパーツの入手が非常に容易であるため、他国では農業機械と同時に調達しているスペアパーツは、「ジョ」国では不要としている。但し、代理店によりアフターサービスの内容・コストが異なるため、農家は最も条件の良い代理店を選択している。

大型農業機械の維持管理についてはバッカにある農業省倉庫において、農業省の技術者が行っている。